

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月20日

団体名 岡崎市ボランティア連絡協議会

代表者 鈴木 壽美

構成員 11人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。
 ボランティア活動を推進する者が、助け合い活動の輪を広げ、福祉のまちづくりをめざして 情報交換と連絡調整することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
令和7年 5月31日	岡崎市社会 福祉センター	市民 (講座参加者)	2人	みんな集まれ「ボッチャ大会」 誰でも参加でき、交流をはかりながら 競技を行った。
6月14日	岡崎市社会 福祉センター	市民 (講座参加者)	2人	防災「受援かとは? 困った時に「助け?」「手伝って」と言える方 あいち防災4-ター会の協力で、防災について 学んだ。
7月22日	岡崎市社会 福祉センター	市民 (講座参加者)	1人	「脳トレ」思考力アップ 回想法による楽しい問題のことば作りと 四字熟語と頭の手操を行った。
9月16日	岡崎市社会 福祉センター	市民 (講座参加者)	4人	「しなやかストレッチ」 リズムに合わせて健康な体を作ろうとし ずわったままでできる体操セ、ボールなどを 使い無理なく体を動かし健康への 貢献を高めた。
10月23日	岡崎市社会 福祉センター	市民 (講座参加者)	2人	「アロマビバと体をリラックス」 ハンドマッサージも体験しアロマの香り リラックスする時間をもってもらえた。
11月16日	インクワリアつむぎ つむぎセントラル パーク	市民 来場者	260人	「ボランティアまつり in インクワリアつむぎ」 福祉体験、啓発などを行い、地域 方との交流ができた。また、芸能団体の 剣舞など見てもらい楽しんでもらえた。
12月20日	岡崎市社会 福祉センター	市民 (講座参加者)	3人	脳トレNo.2 かぎ針からうまれるかわいらしい 小物たち。脳と指を使い 作製しながらよいコミュニケーションの場と化した。
令和8年 1月24日	岡崎市社会 福祉センター	市民 (講座参加者)	1人	「防災」専しく学ぶ「非常食 なべ(ぼうし)を使い、工夫しながら バッチリ作られた非常食を学んだ。

3月7日 岡崎市社会福祉センター 市民(講座参加者)4人 「ほっとコーヒータイム」 コーヒーの香りとお味を堪能しながら
 ※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境> コーヒーのいい
 いれ方を学んだ。

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

協力団体のおかげで、防災・健康促進など幅広い分野の知識や情報を得る機会をもちけた。また、ボランティア祭りでは地域あつちとの交流を行い、福祉体験などで意識を高め、学ぶ場となった。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

さまざまな分野で、知識や技術などを提供することができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。